

## 平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	09	01	02	194090	消防拠点施設等整備事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-3	防災危機管理体制の充実			
	施策	3	消防力の強化			
目的	消防拠点機能・装備の充実強化を図る。					
対象	災害時に生命、身体、財産を守ることを必要とする市民					
意図	消防力を強化し、あらゆる災害から市民の生命、身体、財産を守る体制を充実させる。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○高規格救急車の更新 傷病者の確実な搬送と救命措置を実施するため、消防力の整備計画に基づく高規格救急車の更新整備 花巻南温泉分遣所 高規格救急車(積載資機材倉) 1台 ○消防指揮車の更新 現場指揮隊の機能強化を図るため経年劣化した指揮車を更新整備 花巻中央消防署 消防指揮車 1台 ○小型動力ポンプ付水槽車の新規整備 花巻北消防署管内の消火活動の迅速化を図るため新規整備 小型動力ポンプ付水槽車 1台 ○自動心臓マッサージ器の更新 保守部品が供給停止となったことによる更新整備 自動心臓マッサージ器 1台(花巻中央消防署)						
市民参画の有無 [ 対象外 ]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	消防車両等の更新(新規含)整備	台	計画		3	
			実績		3	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	消防車両等の更新(新規含)整備	台	目標		3	
			実績		3	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
車両3台(更新2台、新規1台)及び救急資機材1台の整備により、救命活動及び消防活動の迅速かつ効率化が図られた。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	常備消防の施設、設備の更新や整備を行い消防力を維持することは市の責務である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	常備消防の施設、設備の更新や整備は、災害や火災時に迅速な対応が可能となり安全・安心なまちづくりにつながることから、成果向上できる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	消防施設、設備は、消防施設装備の安全基準等に基づいた、必要最小限の整備とするため削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	受益者は、特定の市民ではなく全市民の誰もが対象であることから、受益機会は平等である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
○高規格救急車の更新 経年劣化による不測の事態を回避することができ、万全な救急救命体制の確保が図られた。 ○消防指揮車の更新 指揮隊の機能が強化され災害現場における隊員の安全確保、情報収集能力の強化が図られた。 ○小型動力ポンプ付水槽車の新規整備 初期消火能力が向上し、被害の軽減が図られた。 ○自動心臓マッサージ器の更新 救急隊の活動範囲が拡充され、効果的な救急活動が可能となった。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	09	01	02	194090	消防拠点施設等整備事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			98,535		98,535
財源 内訳	国・県				
	地方債		83,700		83,700
	その他				
	一般財源		14,835		14,835

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

消防施設を整備し、災害対応力を充実させ、市民の安心・安全な環境を確保する。

事業開始の背景・経緯

消防施設、設備の経年劣化等に伴う機能低下を改善し維持向上を進める。

事業概要

- 高規格救急車の更新  
傷病者の確実な搬送と救命措置を実施するため、消防力の整備計画に基づく高規格救急車の更新整備  
花巻南温泉分遣所 高規格救急車(積載資機材含) 1台
- 消防指揮車の更新  
現場指揮隊の機能強化を図るため経年劣化した指揮車を更新整備  
花巻中央消防署 消防指揮車 1台
- 小型動力ポンプ付水槽車の新規整備  
花巻北消防署管内の消火活動の迅速化を図るため新規整備  
小型動力ポンプ付水槽車 1台
- 自動心臓マッサージ器の更新 保守部品が供給停止となったことによる更新整備  
自動心臓マッサージ器 1台(花巻中央消防署)

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

車両関係の更新整備については、長期間運用することを踏まえ修理部品の調達やランニングコストを意識しながら仕様書を作成する必要がある。

担当部署 部名 消防本部 課名 警防課 担当係長 小原敏裕 内線 376

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

(1) 高規格救急車等整備事業【花巻南温泉分遣所高規格救急車】(更新) 33,314千円

(単位：円)

所属・車両	購入年月	走行距離	整備経費	内訳
花巻南温泉分遣所 高規格救急自動車	H15. (13年経過)	km 163,000	14,280	12節 リサイクル料金
高規格救急自動車積載資機材			8,910	12節 自賠責保険料
			33,257,736	18節 備品購入費
			32,800	27節 自動車重量税
《参考》 備品購入費内訳 救急車 19,872,000円 積載資機材 13,284,000円 衛星電話 101,736円		合計	33,313,726	

(2) 消防指揮車整備事業【花巻中央消防署指揮車】(更新) 15,196千円

(単位：円)

所属・車両	購入年月	走行距離	整備経費	内訳
花巻中央消防署 消防指揮車	H5. (23年経過)	km 146,000	14,280	12節 リサイクル料金
			8,910	12節 自賠責保険料
			15,140,304	18節 備品購入費
			32,800	27節 自動車重量税
《参考》 備品購入費内訳 指揮車 14,958,000円 衛星携帯電話 101,736円 携帯電話 80,568円		合計	15,196,294	

(3) 小型動力ポンプ付水槽車整備事業【花巻北消防署配備】(新規) 47,325千円

(単位：円)

所属・車両	購入年月	走行距離	整備経費	内訳
花巻北消防署 小型動力ポンプ付水槽車(5t)		km	12,840	12節 リサイクル料金
			8,910	12節 自賠責保険料
			47,270,991	18節 備品購入費
			32,500	27節 自動車重量税
《参考》 備品購入費内訳 車両 46,332,000円 デジタル携帯無線機 210,963円 FOMAパケットラジオパー資機材 398,304円		合計	47,325,241	

(4) 救急資機材整備事業【花巻中央消防署心臓マッサージ器】(更新) 2,700千円